

令和5年度の市民参画協働推進事業の主な取り組みと 令和6年度の市民参画協働推進事業の主な取り組み予定

令和5年度の主な取り組み

市民参画協働推進本部

市民参画協働政策研究会（協働ワーキング）

市民と行政との協働によるまちづくりを考え、「長岡京市オリジナルの協働の形」を探るために立ち上げられた若手ワーキングチームです。今年度で15年目となっています。

総務課や図書館、道路河川課などさまざまな部署から若手職員10名が参加しています。

➤ 市民参画協働研修会の企画立案

⇒毎年度、職員向けの市民参画協働研修を開催しており、令和5年度は監督職員（係長級）を対象とした。

⇒研修内容は「営利と非営利について」「協働とはなにか」など、基礎的な内容の講義と、「わくわくする会議のやり方」「企画の作り方」など、監督職として庁内外で会議をする際のコツや発散と収束を分けることの重要性について講義やひとりプレスト、ブレインライティングなどのワークショップを実施。

➤ コミュニティコーピング体験会の実施

⇒人と地域資源をつなげることで「社会的孤立」を解消するという視点を学べるボードゲーム「コミュニティコーピング」の体験会を実施。

ワーキングメンバー＋庁内職員＋福祉関係者 15名が参加した。

➤ 職員向け協働アンケートの実施

⇒職員同士で共有するためのアンケートではなく、職員の協働に対する考え方を市民に伝えるための内容を検討し、現在全職員へ実施している。

市民活動応援補助金

長岡京市における市民参画と協働のまちづくりを推進するため、市内で営利を目的とせず、市民が自主的かつ自立的に行う公益的な事業に対して、補助金を交付しています。

補助金交付状況（令和6年2月1日現在）

種 類	申 請 数	採 択 数	交 付 予 定 金 額	備 考
市民提案型協働事業コース （最大30万円補助）	5	2	384,000円	
市民協働スタートアップコース （立ち上げ3年以下の団体の事業が対象。最大7.5万円補助）	5	5	375,000円	
小学校区コミュニティ活動応援コース	1	1	60,000円	地域コミュニティ協議会設置校区は除く
合 計	11	8	819,000円	

- 令和5年度採択事業の例 ⇒ 子育て世代の交流の場づくり、本を通して地域のつながりの場づくり、市民ライター等の情報発信者育成 ほか
- 小学校区コミュニティ活動応援コースでは、地域コミュニティ協議会未設立地域である「神足小学校区」の校区まつりに対し補助金を交付。

市民活動応援補助金活動発表会

市民活動サポートセンターとの共催で、市民活動応援補助金交付団体と、市民活動サポートセンター登録団体の活動発表会を開催予定。

- 令和6年3月23日（土）市役所4階会議室401・402にて開催予定。
- 令和6年度補助金の説明会も同時開催

令和6年度補助金の変更

- 助け合いとつながりのまちづくり条例施行に伴い、より公益的なまちづくり活動を市民協働として支援していくため、名称や申請書等について大幅に見直しを行った。変更点等詳細については補助金の変更点についてで説明。

市民活動サポートセンター

市民や非営利市民活動団体の社会貢献活動に対する支援を行うため、長岡京市立総合交流センター（バンビオ1番館）1階に市民活動サポートセンターを設置しています。その管理運営については、指定管理者制度を導入しており、「一般社団法人市民活動ネット・チーム長岡京」が運営しています。

主な事業

- サポセンフェスティバル
- メルマガやHPを活用したサポセン登録団体の活動情報発信

市民活動オフィスフロア

「単独で事務所を持ちたいけど、費用が高くて借りることができない」などの悩みを持つNPO法人や市民活動団体、ボランティアグループなど、公益的な事業を行う市民活動団体の事務所機能を提供するため、長岡京こらさ（多世代交流ふれあいセンター）2階に「市民活動オフィスフロア」を開設しています。有料で事務所機能や、他団体との情報交換の場や、活動の横への広がりを図る交流の場としてご利用いただいています。

- 令和5年度は10ブース中5団体6ブースが利用中。

地域コミュニティ活性化事業

地域コミュニティ協議会は、小学校区ごとに設立されている住民自治組織です。自治会やPTA、少年補導委員や民生児童委員、総合型地域スポーツクラブなど小学校区内のさまざまな団体や個人が横につながり、フラットな形で情報交換や協力をしていくことによって、地域コミュニティの活性化を促すことを目的として設立されています。

現在、長岡京市内で神足小学校区を除く9小学校区において地域コミュニティ協議会が設立され、地域活性化のためのさまざまな事業を各種団体と協力しながら実施しています。市では各コミュニティ協議会に事業実施のための補助金を交付し、設立後間もない協議会については、事務局を支援するための地域コーディネーターを配置しています。

- 市内全十小学校区対象に防災関連対策及び補助金に係る情報共有会の開催。
- 10月最終日曜日の長岡京市防災の日に、避難所運営訓練を市内全十小学校で行いました。

長法寺小学校区

コミュニティニュースの発行、らくしんまつり、避難所 HUG、地域パトロール、学校環境整備、年末パトロール など

長岡第三小学校区

コミュニティニュースの発行、ながさんひろば、校区内防犯パトロール、校内清掃 など

長岡第四小学校区

コミュニティニュースの発行、夏まつり、避難所運営勉強会、校区内防犯パトロール、小学生ドッジボール大会、おもちゃ修理勉強会 など

長岡五小学校区

コミュニティニュースの発行、友好祭、竹林再生ボランティア事業（タケノコ掘り、土入れなど）、防犯パトロール、学校一斉清掃除草作業、校区総合防災訓練（コミュニティ協議会役員及び各地域自主防災役員のみで実施）、高齢者搜索訓練、コミュニティ自転車教室 など

長岡六小学校区

コミュニティニュースの発行、ながろくまつり、校区パトロール、グラウンド整備、除草作業、校内清掃 など

長岡第七小学校区

コミュニティニュースの発行、夏祭り、みんなのつどい、小畑川クリーン作戦、校区内夜間防犯パトロール、みそづくり、体育館清掃、ビオトープ整備作業 など

長岡第八小学校区

コミュニティニュースの発行、友好祭、小畑川クリーン作戦、長八クリーン作戦、スポーツ体験会、八小文化まつり作品展、少年補導パトロール など

長岡第九小学校区

コミュニティニュースの発行、ふるさと祭り、小畑川クリーン作戦、校区安全パトロール、交通安全教室、見守りタイ活動、文化教室 など

長岡第十小学校区

コミュニティニュースの発行、長十フェスティバル、避難所開設キット意見交換会、校区防災だよりの発行、学校清掃協力、校区パトロール、ミニカフェ：井戸端会議しませんか？ など

まち活 MTG の開催

令和5年1月1日に施行された「助け合いとつながりのまちづくり条例」に規定している「多様な市民が考える場」として、無作為抽出の方式及び公募により参加者を募り、自分が住んでいる街を良くするために、「自分で」何ができるかを考える会です。自治会活動や地域活動に不慣れな人で、でも地域のために何かしたいという人に向けて「自分でまちのための活動をする」ための練習をおこなうことを目的としています。

➤ 令和5年度は全5回開催。

	日時	内容
第1回	12月3日(日)	講座 楽しい会議の作法 ワークショップ練習 地域資源のほりおこし
第2回	12月17日(日)	ワークショップ1 地域課題の見える化 それを解消するアイデア出し
第3回	1月14日(日)	ワークショップ2 テーマ毎ごとにチームづくり チームでプロジェクトの絞り込み
第4回	1月28日(日)	ワークショップ3 チームごとにプロジェクトの実現化に向けた話し合い
第5回	2月18日(日)	ワークショップ4 仲間を増やすためのプレゼン大会

パブリックコメント制度の運用

意見公募（パブリックコメント・パブコメ）手続制度とは、市が計画やプラン、条例など基本的な政策を立案する過程で、その趣旨・目的・内容等を市民に公表して意見を求め、提出された意見を踏まえて意思決定をするとともに、意見に対する市の考え方を公表する一連の手続きのことです。原則、市内に在住・在勤・在学している人が意見を提出することができます。

令和5年度は下記の通り6案件について意見公募が行われました。

案件名	ご意見提出数
「健幸すぽっと」の設置条例(案)	19件(15名)
長岡京市議会議員の請負の状況の公表に関する条例(案)	0件
長岡京市障がい福祉計画(第7期計画)、長岡京市障がい児福祉計画(第3期計画)案	ご意見整理中
長岡京市マンション管理適正化推進計画(素案)	ご意見整理中
長岡京市第10次高齢者福祉計画・長岡京市第9期介護保険事業計画(案)	ご意見整理中
長岡京市地域公共交通計画(素案)	ご意見整理中

立命館高等学校との協働

立命館高等学校との協働事業で、1年生の総合学習の授業の一環として、長岡京市内の様々な課題の解決に向けた考察を行っており、市は課題の提供、また課題に関する情報提供、授業の訪問、発表への講評などで協力をしています。市役所から提案した課題テーマは合計6あり、男女共同参画、公園緑地、デジタル戦略、商工観光、防災、選挙など多岐にわたります。令和6年2月16日に、各クラスの優秀班の発表会が行われ、市担当課も出席しました。

担当課	課題テーマ
男女共同参画センター	男女共同参画の意識づくりのために 身近にはじめられることやアイデア、意見
デジタル戦略課	誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化
防災・安全推進室	若い世代に「災害」について考えてもらうために
総務課	みんなが選挙に行く社会にするために。 小中学生へのワークショップを考えよう！
商工観光課	地域のお店の情報発信
公園緑地課	みどりのサポーター制度による公園等の緑化及び 環境美化活動の推進について

市民公募委員の登用推進、名簿作成

市民のみなさんからできるだけ幅広い意見を伺い、市政に反映していくため、市では審議会、懇話会などで市民公募委員を採用したり、市民ワークショップを開催したりしています。

その際、一般公募を行います。事前に市内在住の18歳以上の方から無作為に抽出した500人に「候補者名簿」への登録をお願いしています。必要に応じて、その名簿の中から市民公募委員の就任やワークショップの参加をお願いしています。

- ① 審議会などの公募委員候補者名簿
審議会などの委員改選時や欠員が生じた際に、公募委員の就任を依頼します。
名簿に登録される期間は2年間です。
- ② ワークショップなどの参加候補者名簿
ワークショップなど市政への意見交換の場が開催される際、参加案内を送付します。
名簿に登録される期間は4年間です。

令和6年2月1日作成名簿の利用状況（結果報告）

名簿利用期間	令和6年2月1日～令和8年1月31日
登録人数	「審議会などの公募委員候補者名簿」 21名 「ワークショップなどの参加候補者名簿」 45名
令和5年度に審議会などの公募委員候補者名簿から就任した人数	3名
ワークショップなどの参加候補者名簿を利用したワークショップ	0件

令和6年度の主な取り組み予定

市民参画協働推進本部

政策研究会（協働ワーキング）

職員研修

庁内連携推進に向けた取り組みの検討・実施

市民活動サポートセンターの管理運営

指定管理者制度によるセンター運営（4年目）

地域コミュニティ活性化

既存協議会（9校区）への支援

地域住民による自主運営に切り替えていけるように働きかけ

未設立校区（神足小校区）への設立働きかけ

テーマ型市民活動団体との連携

みんなの未来をつくるまち活補助金制度の運用

審査会の開催

補助金の採択団体決定・交付

補助金制度の見直し

事業報告会の実施

まち活 MTG の開催

まち活 MTG の開催

その他

市民活動オフィスフロアの運営

パブリックコメント制度の運用

ワークショップ・審議会等の市民参画登録制度“さんかく”の運用